

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	選挙常時啓発事業							
担 当 課 係 名	選挙管理委員会	課	事務局	係	作成者	鶴田和則		
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	-				総合計画の ページ		
	基本計画	-						
	主要施策	-				-		
予 算 費 目	一般	会計	2 款	総務費	4 項	選挙費	2 目	選挙啓発費
事 業 期 間	平成	年度	～	平成	年度	新規 / 継続の区分		継続
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理							
根 拠 法 令 等	仙北市明るい選挙推進協議会設置要綱・第 5 9 回明るい選挙啓発ポスター作品募集要項							
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務							
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助							

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市内住民
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	児童生徒を媒介として、市民の選挙への関心度向上を図り、公正明朗な選挙の啓発に努める。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	市内の小中高校の児童生徒を対象とした選挙啓発ポスターの募集

【事務事業の推移】

(単位：千円)

項 目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	募集作品数	点	30	30
	成果指標	応募作品数	点	25	
投下コスト	項 目	総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)		4	118	
	国 庫 支 出 金				
	県 支 出 金				
	地 方 債				
	そ の 他				
	一 般 財 源		4	118	
	人 件 費 (B)	—	436	448	
	職 員 数	—	0.06	0.06	
	職 員 平 均 人 件 費	—	7,853	8,071	
	(A) + (B) 投下コスト	—	440	566	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)	—	14,667	18,867	
		—			
	市民1人当たりのコスト(円)	—	14	18	

【事務事業の今までの成果】

低コストで、若年者への選挙啓発に効果が期待できるが、活動指標値を越えるに至っていない。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	事業実施主体である県では、今後も事業継続の見通し
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	特になし

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
B	A	現状のまま継続（実施）	若年者への啓発活動は、即効的な事業ではないため、長期に亘っての継続事業とすべきと認められるが、事業周知や募集方法など応募者増加策に検討の余地あり
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

市広報誌やお知らせナビを活用して周知拡大を図り、児童生徒の関心度向上に努める。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B	選挙啓発事業は必要な事業であるが、事業の周知など検討が必要であると考えます。

一次評価診断図

